



第55期 期末報告書

2016年4月1日－2017年3月31日





代表取締役社長
土居 悦郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第55期(2016年4月1日から2017年3月31日まで) 期末報告書をお届けするにあたり、日頃の皆様の温かいご支援に対し心からお礼申し上げます。

当社グループは運営方針である「1. コネクタ・ハーネス・ラックの3事業を継続する。2. 新製品売上高を倍増させる開拓開発活動を行う。3. 海外市場を強化拡大する(アジア、欧州市場の開拓)。4. 車載市場を強化開拓する(新顧客／新製品／新分野に注力)。5. 工業・車載・遊技・画像・医療機器を注力市場とする。」を推進し、安定した成長を実現し、更なる価値創造に向けた活動を続けてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は96億71百万円(前連結会計年度比4.9%増加)となりました。

利益面につきましては、経常利益8億53百万円(同1.4%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億84百万円(同10.6%増加)となりました。

第56期は、基本方針を「確実な成長を遂げられる企業体質を構築する。あらゆる可能性を切り拓いて各分野／領域を拡大する。」とし、顧客開拓活動の質・量を上げ商談発掘、商談成約を倍増させ、市場活動の中で付加価値製品の開発を行うとともに、生産性の向上を図り、収益力を高める事業を展開いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月

- 売上高 工業機器・医療機器市場等の注力市場が好調に推移
- 当期純利益 増収および設備投資の見直し等による経費削減効果

経営実績

	当期	増減金額 (前連結会計年度比)
売上高	9,671	456
営業利益	843	54
経常利益	853	12
親会社株主に帰属する 当期純利益	584	56

財務状況

	当期末	増減金額 (前連結会計年度比)
総資産	14,541	945
有利子負債	820	32
自己資本	10,964	459

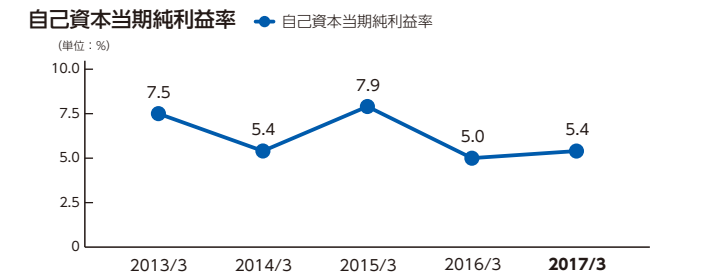
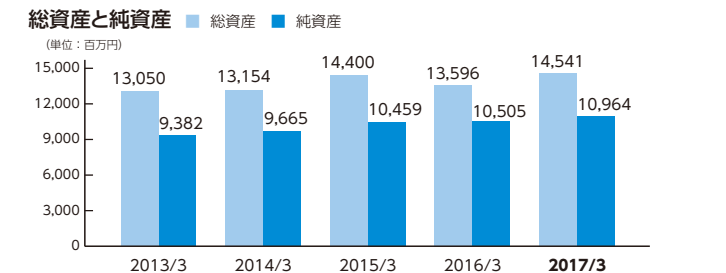
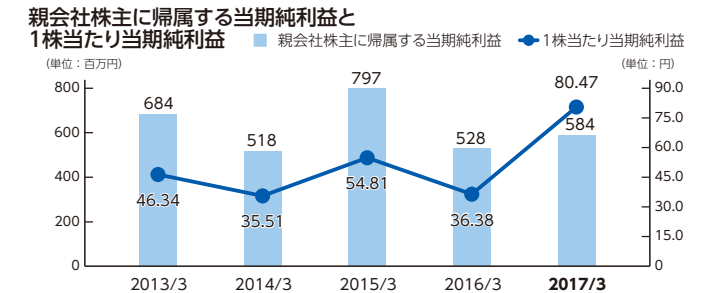
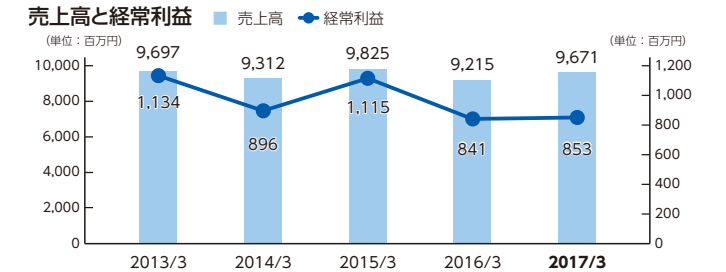
1株当たり情報

	当期	増減金額 (前連結会計年度比)
当期純利益	80.47	7.71
純資産(期末)	1,508.86	63.21

※平成28年10月1日付で普通株式2株を1株に株式併合しております。
前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、増減金額(前連結会計年度比)を算定しております。

	中間	期末
配当金	7	19

※株式併合後の基準で換算した中間配当金は1株当たり14円となり、年間では33円となります。



経営成績

前年と比較し増収増益

売上高



経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の生産活動および輸出の持ち直しによる、企業収益、雇用・所得環境の着実な改善が続くなか、個人消費は不透明な状況にあるものの、米国の経済政策の期待感を受けて、緩やかな回復基調が続きました。

米国経済は雇用・所得環境の改善が下支えとなり、回復が続いており、欧州経済も英国の欧州連合離脱への懸念は残るものの回復が続いております。中国等の新興国経済は成長鈍化の状態が続きましたが、全体としては緩やかな成長を続けております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、車載向け、中でも環境対応車両向け製品の需要は堅調に推移しておりますが、スマートフォン向け製品の伸びは鈍化しました。また、産業機器・工業機器分野ではICT（情報通信技術）関連の回復傾向が見られ、半導体製造装置・制御装置関連の需要も堅調に推移しました。

このような環境の中、今年度は、基本方針を「確実な成長を遂げられる企業体質を構築する。あらゆる可能性を切り拓いて各分野／領域を拡大する。」とし、運営方針である「1. コネクタ・ハーネス・ラックの3事業を継続する。2. 新製品売上高を倍増させる開拓開発活動を行う。3. 海外市場を強化拡大する（アジア、欧州市場の開拓）。4. 車載市場を強化開拓する（新顧客／新製品／新分野に注力）。5. 工業・車載・遊技・画像・医療機器を注力市場とする。」を推進し、安定した成長を実現し、更なる価値創造に向けた活動を続けてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は96億71百万円（前連結会計年度比4.9%増加）となりました。

利益面につきましては、経常利益8億53百万円（同1.4%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益5億84百万円（同10.6%増加）となりました。

次期の見通し

付加価値製品の開発活動を推進

売上高



経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益

当社グループは、経営基本方針である「オープンで、フェアな企業活動を基本として、信頼される企業を目指す。」「最先端技術の研究と開発に努め、お客様のご要望にお応えする魅力ある商品を提供する。」「個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる。」「効率的な経営を通じて、長期安定的な成長と、共存共栄を実現する。」に基づき、市場の動向を見極め、お客様との対話を重ねることによって、幅広いニーズに対しオリジナリティあふれる最適な製品を市場に供給しております。積極的な技術提案に基づき、お客様の期待に応える品質・サービスの提供に努めることにより、企業価値の向上を図ってまいります。

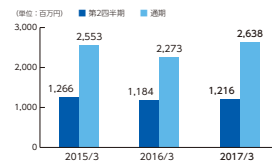
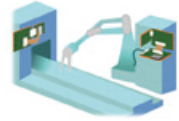
独自性商品（付加価値商品）の開発による社会への貢献と収益性重視の経営を目指し、長期安定成長の実現のため、会社、製品、人材の価値を創り出し、新たな成長ステージへ挑戦いたします。新製品の増加、商談発掘の倍増、市場創造・創出、人材育成、原価低減、品質確保など成長するための体質作りに向け「確実な成長を遂げられる企業体質を構築」し「あらゆる可能性を切り拓いて各分野・領域を拡大」することを企業活動の考えとし、柔軟で機動的な実行力ある組織の構築、および人材配置を行い、進取性に富む企業文化の浸透を図り、次世代へ繋ぐ人材の育成に努めます。

第56期は「コネクタ・ハーネス・ラックの3事業を継続する」「新製品売上高を倍増させる開拓開発活動を行う」「海外市場を強化拡大する」「車載市場を強化開拓する」「工業・車載・遊技・画像・医療機器を注力市場とする」を運営方針とし、顧客開拓活動の質・量を上げ商談発掘、商談成約を倍増させ、市場活動の中で付加価値製品の開発を行うとともに、生産性の向上を図り、収益力を高める事業を展開いたします。

市場別の状況

工業機器

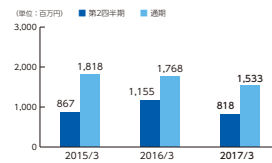
制御装置
半導体製造装置
車輻機器用製品



売上高構成比 27.3% 前連結会計年度比 16.1%増
企業の生産活動の回復により、制御装置、半導体製造装置、ロボット等省力機器向けコネクタ（フローティング、極細同軸ケーブル用、ハーフピッチ）および電力関連向け特注ラックの販売が増加したことにより、売上高は26億38百万円（前連結会計年度比16.1%増加）となりました。

遊技機器

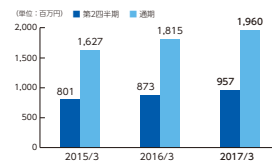
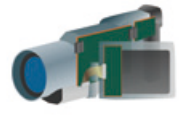
パチンコ
パチスロ用製品



売上高構成比 15.9% 前連結会計年度比 13.3%減
遊技機器の周辺機器へ受注活動を実施しておりますが、遊技機器メーカーの新機種投入抑制および遊技市場の低迷に伴い、コネクタ等の販売が減少したことにより、売上高は15億33百万円（同13.3%減少）となりました。

画像機器

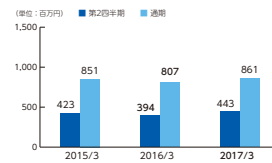
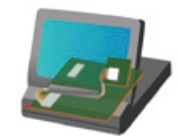
デジタルカメラ
ビデオ
監視カメラ用製品



売上高構成比 20.3% 前連結会計年度比 8.0%増
大手監視カメラメーカー向け極細同軸ケーブル用コネクタおよびデジタルカメラ向けフローティングコネクタの販売が増加したことにより、売上高は19億60百万円（同8.0%増加）となりました。

車載機器

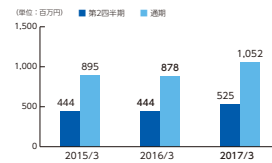
カーナビ
I T S 関連用製品



売上高構成比 8.9% 前連結会計年度比 6.7%増
カーナビ向けフローティングコネクタの販売が増加したことにより、売上高は8億61百万円（同6.7%増加）となりました。新たなカテゴリーとしてセンサー関連、車載カメラ、電気自動車等での展開を進めております。

医療機器

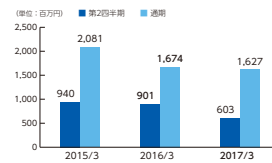
超音波診断装置
内視鏡
MR I 用製品



売上高構成比 10.9% 前連結会計年度比 19.8%増
医療機器市場を注力市場と位置付け、活動を実施している成果が出ており、CT・MRI向けハーフピッチコネクタおよび特注ラック、ならびに医療器（超音波診断／内視鏡等）向け極細同軸ケーブル用コネクタの販売が増加したことにより、売上高は10億52百万円（同19.8%増加）となりました。

その他

複写機用製品他



売上高構成比 16.8% 前連結会計年度比 2.8%減
金融機関端末・コンビニ端末等向けドローコネクタの販売は増加しておりますが、事務用機器の販売低迷による複写機・複合機向けコネクタおよび通信機器向け特注ラックの販売減少により売上高は16億27百万円（同2.8%減少）となりました。

製品別の状況

コネクタ



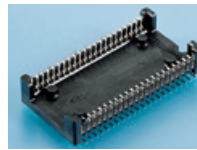
コネクタの売上高は、事務用機器および遊技機器向けの受注は減少しましたが、制御装置・半導体製造装置向けフローティングコネクタ、監視カメラおよび電子応用医療機器向け極細同軸ケーブル用コネクタ等の受注が増加したことにより81億61百万円（前連結会計年度比4.0%増加）となりました。

ラック



ラックの売上高は、通信機器向け特注ラック等の受注は減少しましたが、電力機器・装置および医療機器（CT、MRI等）向け特注ラック等の受注が増加したことにより10億87百万円（同16.0%増加）となりました。

ソケット

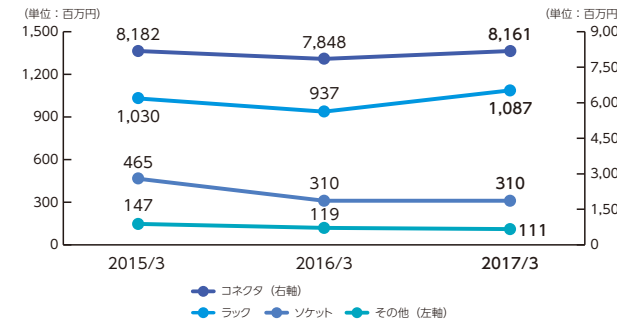


ソケットの売上高は、遊技機器向けの受注が増加しましたが、工業機器、産業機器向けの受注が減少したことにより3億10百万円（同0.1%増加）となりました。

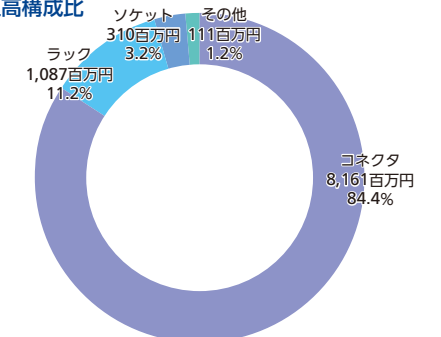
その他

その他の売上高は1億11百万円（同6.3%減少）となりました。

製品別売上高推移



製品別売上高構成比



拡販製品、市場ターゲットを明確にし、 事業の拡大を図ってまいります。

市場ターゲット

車載機器

カーナビに加え、車載カメラ・センサー関連への
アプローチ強化
欧州・アジア等、海外での事業展開強化



工業機器

制御機器、工作機械、ロボット、半導体製造装置、防災関連、
省力化設備関連向けの製品開発強化・製品バリエーション
拡大により多様な分野で売上を拡大



遊技機器

遊技機器および遊技機器周辺・関連機器での
採用拡大活動の実施



その他

従来より活動していた医療関連、電鉄関連、電力関連での、
需要拡大を取り込む受注活動の実施



取り組み

- ▶ 極細同軸ケーブル用コネクタ・ハーネス、フローティングコネクタ、圧着コネクタ・ハーネスでの医療、車載、新技術、ロボット分野への受注活動
- ▶ 新製品開発、製品バリエーション拡充
- ▶ 圧着コネクタの拡販を推進し、主力製品に育成

戦略拡販製品

極細同軸ケーブル用コネクタ・ハーネス 製品シリーズ：XSL、XSLs、USL、USLS、SSL、TMC

機器の小型化に対応、ノイズ対策、屈曲性・
捻回性に対応したコネクタ



フローティングコネクタ 製品シリーズ：DY、DU、DT

コネクタを嵌合する際に生じる縦横方向の
誤差を吸収する機構（フローティング機構）を
搭載したコネクタ



圧着コネクタ・ハーネス 製品シリーズ：FA、FAS、FBC、FTC、8929E

作業性や使い勝手が考慮されており、治具を
用いてケーブルを圧着接続できるコネクタ



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

科 目	(単位：千円)		
	前期末 (2016年3月31日現在)	当期末 (2017年3月31日現在)	増減金額
＜資産の部＞			
流動資産	7,533,556	8,501,518	967,962 ※1
固定資産	6,063,312	6,040,236	△ 23,076
有形固定資産	4,595,308	4,436,715	△ 158,593
無形固定資産	94,155	92,163	△ 1,992
投資その他の資産	1,373,848	1,511,357	137,509
資産合計	13,596,868	14,541,754	944,886
＜負債の部＞			
流動負債	2,398,754	2,614,025	215,271
固定負債	692,174	963,232	271,058
負債合計	3,090,928	3,577,258	486,330
＜純資産の部＞			
株主資本	10,414,297	10,780,695	366,398
その他の包括利益累計額	91,642	183,800	92,158
純資産合計	10,505,940	10,964,496	458,556
負債純資産合計	13,596,868	14,541,754	944,886

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位：千円)	
	前 期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当 期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,152,045	905,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 689,896	△ 611,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 452,058	△ 186,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 22,206	△ 10,434
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 12,116	96,933
現金及び現金同等物の期首残高	3,187,539	3,175,423
現金及び現金同等物の期末残高	3,175,423	3,272,357

株主還元について

当社の配当方針「株主の皆様への利益還元を重視し安定的な配当の維持に努めることに加え、連結業績に応じた配当を行うことを基本とし、連結配当性向は40％以上を目標といたします。」に基づき期末配当金を19円といたしました。

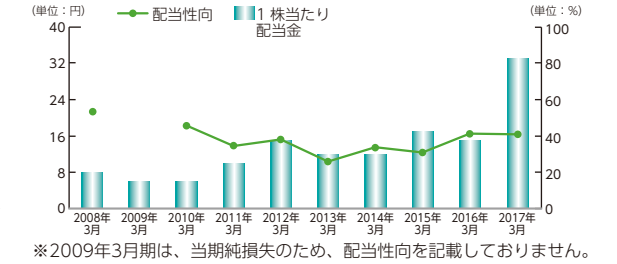
なお、当社は平成28年10月1日付で普通株式2株を1株に株式併合しております。株式併合後の基準で換算した中間配当金は1株当たり14円となり、年間では33円となります。

連結損益計算書

科 目	(単位：千円)		
	前 期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当 期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)	増減金額
売上高	9,215,926	9,671,517	455,591
売上原価	6,802,077	7,100,425	298,348
売上総利益	2,413,848	2,571,091	157,243
販売費及び一般管理費	1,624,842	1,727,175	102,333
営業利益	789,006	843,916	54,910
営業外収益	71,680	37,590	△ 34,090 ※2
営業外費用	19,318	28,055	8,737
経常利益	841,368	853,451	12,083
特別利益	—	46	46
特別損失	13,734	5,052	△ 8,682
税金等調整前当期純利益	827,633	848,445	20,812
法人税、住民税及び事業税	240,809	305,355	64,546
法人税等調整額	57,965	△ 41,686	△ 99,651
法人税等合計	298,775	263,668	△ 35,107
当期純利益	528,857	584,777	55,920
親会社株主に帰属する当期純利益	528,857	584,777	55,920

POINT

- ※1 電子記録債権等が増加しました。
- ※2 前期に為替差益等がありました。



会社の概要・株式の状況 (2017年3月31日現在)

会社概要

商 号	ケル株式会社
英 文 社 名	KEL CORPORATION
設 立	1962年（昭和37年）7月23日
資 本 金	16億1,700万円
従 業 員	280名
事 業 目 的	電気機械器具、精密機械器具、合成樹脂製品、化学製品、各種金属工業製品および雑貨類の製造、売買ならびに輸出入、その他附帯業務
ホームページ	http://www.kel.jp

役 員 (2017年6月28日現在)

代 表 取 締 役 社 長	土 居 悦 郎
常 務 取 締 役	島 田 明
常 務 取 締 役	三 國 武 幸
取 締 役	原 俊 彦
社 外 取 締 役 (常 勤 監 査 等 委 員)	菊 地 英 俊
取 締 役 (監 査 等 委 員)	白 倉 勝
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	泉 澤 大 介

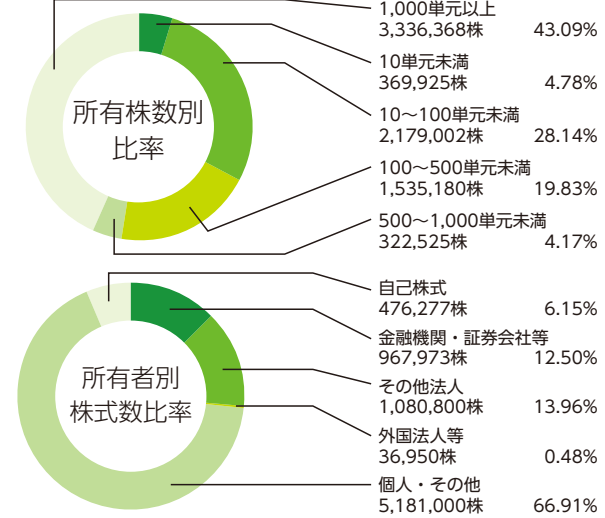
株式数および株主数

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	7,743,000株
株主数	2,405名

株価の推移と出来高



株式分布状況



- | | | | |
|----------------------|---|----------|--|
| ◆事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで | ◆単元株式数 | 100株 |
| ◆定時株主総会 | 6月 | ◆公告の方法 | 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
(当社のホームページ
http://www.kel.jp/investor/index.html
に掲載しています。) |
| ◆基準日 | 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
三菱UFJ信託銀行株式会社 | ◆上場証券取引所 | 東京証券取引所 ジャスダック市場 |
| ◆株主名簿管理人
特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話（通話料無料）0120-232-711 | | |
| ◆同連絡先 | | | |

ネットワーク

- ◆本社
東京都多摩市永山六丁目17番地7
〒206-0025 TEL：042-374-5810
- ◆事業所

山梨事業所	山梨県西八代郡市川三郷町
長野事業所	長野県北安曇郡池田町
南アルプス事業所	山梨県南アルプス市
- ◆営業所

宇都宮営業所	栃木県宇都宮市
水戸営業所	茨城県ひたちなか市
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区
大阪営業所	大阪府大阪市淀川区
- ◆駐在員事務所
北米駐在員事務所 米国カリフォルニア州
- ◆海外子会社
旺昌電子股份有限公司 台湾 新北市
科陸電子貿易（上海）有限公司 中国 上海市
KEL Europe GmbH ドイツ デュッセルドルフ市

ホームページのご案内



<http://www.kel.jp>

最新のニュースや企業情報、製品情報など、
様々な情報をご覧いただけます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。